

社会福祉法人なごみ福祉会

なごみだより

なごみ福祉会のコミュニティマガジン

no.29

「なごみ福祉」で検索 www.nagomi-fukushikai.jp発行：社会福祉法人なごみ福祉会 なごみだより編集委員会
川崎市多摩区菅稲田堤3-9-2 TEL 044-944-2022

editor

なごみだより編集委員会 ◆編集委員長 / 渡邊 (■地域療育事業部)

■保育部 / 山梨 ■せせらぎ事業部 / 伊東 ■夢花事業部 / 進藤

■ここから事業部 / 鶴岡 ■デザインアドバイザー / 寺内



▲夢花工房の利用者さんが作った寅年グッズで可愛いトラのポーズをしているなごみ保育園の子どもたち！

新年のご挨拶と法人活動の報告

理事長 飯島 克巳

新年明けましておめでとうございます。

今年こそは、ゼロコロナとまでは願いませんが、生命の危険を伴うことなく通常の生活を送れるような状態に改善することを切に望みます。皆さんも同じ考えだと思います。どうぞ一緒に頑張りましょう。



昨年秋以降、感染者減少の動きがあり、その間隙をぬって各保育園でも時間短縮ながら運動会が開催されるなど昨年できなかった行事が再開されました。練習に励む子ども達と保育士さん達の微笑ましい姿を見て、嬉しく思いました。

しかし、昨年末になり、外国から新規の変異型の感染拡大のニュースが入ってきました。これが今後第6波となるか心配です。依然として予断を許しません。

法人の動きについては前号NO. 28で報告しましたが、補足とその後の動きをご紹介します。

補欠監事役の選任

一つは、補欠監事役を選任いたしました。監事は理事会等の法人会議に毎回出席し、法人活動が適正に実施されているか監査する重要な役割です。現在2名の監事にお世話になっていますが、今後の監事改選に備え、新たに2人の方に監事候補として補欠監事役をお願いしました。

お一人は、公認会計士の青木重典様です。公認会計士というお立場で、法人の財務関係についてアドバイスをいただきます。

もうお一人は、田園調布学園大学専任講師の望月隆之様です。グループホームや生活介護等で約11年の現場経験のある新進気鋭の研究者です。福祉サービスのあり方についてアドバイスをいただきます。

評議員の追選任について

次は、新評議員のご紹介です。No28にて6月に改選された新評議員の皆さまのご紹介をしたところですが、その後、法律上更にもう一人の選任が必要との指示が神奈川県よりありました。そこで和泉短期大学の鈴木敏彦先生に就任をお願いしたところ、了解をいただくことができました。先生は、保育士の養成大学の教授であり、障害のある人たちの意思決定支援の分野で造詣が深く、過去に法人の職員研修でも講師を担当していただいています。津久井やまゆり園に関係して神奈川県が設置している県意思決定支援専門アドバイザーも担当されています。

それぞれの分野でご活躍なさっている先生方にご協力をいただき、力を合わせて法人運営に取り組んでいきたいと思えます。

41年目の「地域で共に」を一緒に考えたい

昨年発行した法人40周年記念誌について、良い内容だったと嬉しい評価をいただいています。表紙にある古びた建物から現在は多くの鉄筋コンクリート造りの施設に囲まれる法人に成長しました。一緒に法人を作ってきた親御さん、



▲職員研修に参加中の飯島理事長

地域の皆さんのお陰だったと感謝する次第です。しかし、法人の理念として紹介されている「共に生きる」というキーワードが現実の中でどのように成長したかについては、まだ検証が行われていないと理解しています。一人のお母さんの願いとして発した「共に」の願いは40年後、障害のある子ども、青年、大人、家族にどのような地域生活を実現したのか、記念誌発行に引き続き、考えていきたいと思えます。

皆さま、本年もどうぞよろしくお願いたします。

保育部

保育部法人内研修・公開保育を通して

例年、各園1クラス、0～5歳児の歳児別に6園で6クラスの公開保育を実施しています。それぞれの園が、遊びや生活、学び等、その時々に応じたテーマを選んで公開し、参加した保育士が自園に持ち帰ることで情報共有ができ、高め合いにもなります。今回、北鳥山は11月25日に5歳児で担当、姉妹園から5歳児担任が来園しました。

この日は魚の“アジの生体について～”を、ねらいに…。前日は栄養士との食育で鰻の解体ショーを見学し、生命について様々なことを感じ取っていた子どもたち。昨日の鰻が骨や尻尾、背びれ、ウロコ等に6部位に分けられ、それらを顕微

鏡で細部まで観察したり描いてみたり、役割分担しながら学び合い発表し合う等、5歳児ならではの学びや発想がありました。



▲鰻の観察をする子どもたちと姉妹園の保育士

興味関心を保育に落とし込み、生命の大切さ、生物の違いや機能の違いを自分たちで学び合う姿もありました。鰻の部位をきれいに洗い、匂いも残らないよう準備の補助してくれた栄養士にも感謝です。午後は保育の振り返りからディスカッションをして語り合い、課題や発達段階をとらえたアドバイス、情報収集、保育者のかかわり方などを共有しました。私たち職員集団も子どもの成長を通して学び、ともに育ち合う姿に理念との繋がりを感ずずにはられません。一步一步ともに。 矢野

地域療育事業部

学校支援は地域療育事業部の大切な柱です

でんでん虫が川崎市立小学校特別支援級の児童を対象に音楽による学校支援を行うようになって20数年が経ちます。

最初はたった一校の支援級担当の先生との「子どもたちに経験させたいね」という思いの共有から始まりました。それが現在は市内30数校に広がりました。

支援級の子どもたちにも仲間と共に楽しい時間を共有する集団活動は必要と考え、「楽しいからもっとやりたい」「楽しいからちょっと頑張る」「先生や仲間がいるからやってみる」子どもたちのちょっとした一歩を先生方と共に支え、次の活動や生活への意欲、達成感・満足感に繋がる事をねらい取り組んでいます。

残念ながら、今年度もコロナの為、活動自粛や延期が相次ぎました。先生方からは『伸びやかに声を出し、身体を動かし、

仲間と笑い合うというエネルギーも、なかなか出せる機会を持っていない』との声が聞かれました。

10月になり緊急事態宣言が明け、学校支援が再開すると「久しぶり！」と期待して待っていた子どもたち。

そんな子どもたちの姿を見ていると、何事にも向かうエネルギーの土台「楽しいからやりたい！」は、子どもの時代にかかりと仲間と共に経験できるような機会やチャンスを大人が支えていく必要があると感じます。今後もでんでん虫の活動の柱の一つとして学校支援に取り組みで行きたいと思えます。

栗原



▲緊急事態宣言明け再開した学校支援「久しぶりー！」

せせらぎ事業部

日帰り旅行にいらっしゃいました！

今年度も、昨年度に続き、無事に日帰り旅行を実施することができました。コロナウイルスの感染が懸念される中ではありましたが、定期的なアルコール消毒やマスクの着用、みなさん一人一人の協力のおかげで11月に合計3回、全ての日帰り旅行を行うことができました。今年度は、はじめて49人乗りの大型バスを使用し、昨年同様、利用者みなさんに窓側へ座っていただきました。ゆとりのある空間をつくりながら、利用者同士の距離に配慮し、感染対策に努めました。今年度の日帰り旅行では、「新江の島水族館」と「くりはま花の国（広い公園）」にいらっしゃいました。最終日は雨天の予報でしたが、なんとか持ちこたえ、天候に左右されることなく、楽しむことができました。

新江の島水族館では、滞在時間の関係でイルカショーは見られませんが、イルカプールのイルカを近くで見たり、クラゲやアザラシ、ペンギンなどを観察して楽しみました。利用者みなさんがケータイを片手に写真を撮ったり、声をあげて喜んだり、それぞれの感じ方でふれあいを楽しむ様子を見て、日帰り旅行を無事開催できたことを、心から嬉しく思います。来年度も、利用者さんの楽しみである旅行が実施できるよう、一刻も早いコロナウイルス終息を願っています。

嶋田



▶ 日帰り旅行を無事に開催できました！

夢花事業部

今年度も colors かわさきに出展しました



▲今年の展示風景（左）とリモートワークショップ（右）利用者で二人三脚で作った物が作品として形に残ることに喜びを感じています。展示会では伴走者の存在が垣間見えるのも面白いところではないでしょうか。初の取り組みとして行ったリモートでの木工制作のワークショップは、オリーブの利用者が講師役になり、モニターを通して会場のお客様に上手に作り方をレクチャーできました。

赤埴

自由な色使いでのびのびと描きあげた作品を見ながら「これは何だろうね」と一緒に考えながら楽しく描きました。

利用者と二人三脚で

「食の祭典 in 生田緑地」へ出店、遊びに行きました

11月20日（土）、21日（日）の2日間、生田緑地で開催された「食の祭典」に参加しました。昨年度と今年度、2回目の出店で、グループホームで当日外出をされていない利用者の皆様も職員が引率して会場内を楽しみました。食べ物の販売が多く、皆さん様々に美味しいものを食べ、とても良い笑顔で過ごされていました。出店もお客が多く忙しいのですが、「これを全部売り切ろう」など楽しみながら販売をしていました。コロナ禍の中で出店する場面が少ない中、とても助かるイベントとなっています。

小野寺

来場した人の評判も良かった食の祭典



ここから事業部

事業部内研修のご報告

令和3年11月20日に、ここから事業部利用者支援適正化委員会の研修として、「各部署で実際に起こったヒヤリハットを事例に再発防止策を考える」というテーマで、内部研修を行いました。

研修は、個人ワークのあと4人のグループで再発防止策を考えてもらい、グループ毎に発表を行い、最後に望月先生と施設長の総評をいただくという流れで行いました。当日は、田園調布学園大学子ども未来学部の望月隆之先生にお越し頂いています。先生お忙しい中ありがとうございます。事例は児童発達支援とグループホームから1ケースずつ出してもらい、各グループ活発な意見が交わされました。皆さんから具体的な再発防止策のアイデアが複数でましたので、今

後の支援に活かしていきたいと思います。

望月先生からはアセスメントの重要性を各職員が再認識し、問題の背景を広く探っていく事が大変重要ではないかという意見を頂きました。

ここからの職員はヒヤリハットを書くという意識があり、令和3年度の上半期だけで約150件のヒヤリハットが出ています。各部署から提出されたヒヤリハットは支援適正化委員会で共有されますが、提出されたヒヤリハットをどう活かし、どのように支援に繋げていけるのか？適正化委員会の課題としていきたいと思えます。

板橋

ここから職員のグループワークのスナップ



11/29
オリーブ
創作活動



「保育園の子どもたちのために、来年の干支のトラのお面を作ります」とお伝えすると皆さん張り切って参加してくれました！みんなが器用ではないですが、ハサミの得意な方が形を切り出すと他の方はのりをつけたりと分担しながらやりました。「どうやるの？」「長すぎた！」「手伝うよ」と和気あいあいと楽しく作っていきます。張り子のしっぽを作る時には自然と二人一組になって作業されるチームワークの良さ。何となく形が出来たところで誰かがかぶってみると「かわいい！」と声があがり、「ガオー」とポーズを決めていました。「子どもたち、喜んでくれるといいね。」きっと喜んでくれるかな。お渡しするのが楽しみです。

夢花工房・安藤

「ここでもつながっているんです！」
夢花工房から
なごみ保育園に
手作りの
トラ変身セット
が届きました！

なごみ福祉会
つながり事業紹介



夢花工房オリーブさんが、保育園にトラの変身セットを届けてくれました。子どもたちはお面やしっぽをつけてもらい大喜びです。「手がいい！」とお面ではなく、手袋をリクエストする子も。トラに変身した時の様子が表紙の写真です♪

なごみ保育園・山梨

12/3
なごみ
保育園





なごみを利用されている方へ
インタビューコンテンツ

教えて！グループホームの暮らし

飯沼 嵩さん

飯沼嵩さんとなごみ福祉会のつながりは「なごみ保育園」から「でんでん虫の音楽リズム」そして入居10年となる「なごみグループホームでの暮らし」と、法人の40年の歴史の中でも長きにわたり続いています。

「ホームは10年ですよ、慣れましたよ、安心です」
「夕飯もおいしいですよ、好き嫌いないです」
「それ昔のスーパーファミコンですよ」と室内を指さしながら好きなDVDのシリーズや生活の様子、時には過去の入院の大変だったこと、以前一緒にリズムをしていた方との思い出やご家族への気持ちなどをゆっくりと話してくださいまし

た。中でもヘルパーさんとの外出は気分が晴れて気持ち良く「結構忙しいんですよ」と言いながらも外出が一番楽しいことのように。



▲グループホームの自室でくつろぐ飯沼さん

「でんでん虫の音楽も長くなりましたね」とお話しすると「なごみ保育園のリズムからですよ」と嵩さん。今も音楽グループで歌やいろいろな楽器を使っの楽しい活動を続けていますが、「音楽は好きですよ」「発表会ありますか？」とインタビュー中にはやる気満々の発言がたくさん飛び出しました。嵩さんとの長いつながりを伺い、地域の中であたりまえにというなごみの理念が生きているなど感じました。
(インタビュー：子ども相談室でんでん虫・栗原敦子)

けいじ ばん

■本部より

昨年度おこなうことができなかった法人研修会をオンラインで開催します。

【日程】令和4年1月22日(土)

【時間】14時から(1時間半程度)

【講師】田園調布学園大学 子ども未来学部 子ども未来学科専任講師 望月隆之氏 *望月先生は今年度から当法人の業務監事補欠として着任いただいています。

【研修内容】権利擁護*保育部、障害福祉部の共通内容にて講義をしていただく予定です。※ZOOM研修となりますので自宅からでも閲覧できます。また録画もすることとなっておりますので、当日受講できない方には後日各部署で閲覧できます。

■せせらぎ事業部より

令和4年2月19日(土)に第27回あゆまつりを開催します。今回はコロナ対策として内部向けの開催になります。内容はつばめの会による発表やゲームコーナー、焼き菓子販売、展示会などを行う予定です。参加される利用者さんが楽しんでいただけるお祭りになるように準備をしていきます。

■夢花事業部より

令和4年2月11日(金・祝)、夢花アートワーク2022開催します。会場は鷺ヶ峰営業所の前、旧ドリーム2です。駐車場等ありませんので公共交通機関をご活用下さい。

本部からお知らせ



後援会寄付金お礼

今年度も法人後援会花笑の会より100万円のご寄付があり、11月20日～23日の4日間をかけ、多摩川あゆ工房1階作業室の棚の修理に使わせていただきました。お陰様で、作業で使用する道具などが安全に片づけられるようになりました。ありがとうございました。



▲作業室の棚の改修前(左)とすっきりした改修後(右)



花笑の会から皆様へお願い

社会福祉法人なごみ福祉会後援会 『花笑の会』会長 志岐チエ子

あけましておめでとうございます。あっという間に、また新しい年を迎えました。いつも私たち「花笑の会」にご支援、ご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。今年も新年から、またいろいろな願いをしていくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。コロナもほっとする間もなく、新種?が現れ、まだまだ先がわからず、いつになったらバザーが出来るのかな、とこれも不安ですが、この前もお願いいたしましたが、どうか、会の運営に参加してください。負担のかからない参加の仕方、私たちも携わっています。皆様の参加を心からお願いいたします。最後になりましたが、皆様にとって今年が良い年になりますように。

花笑バザー会場の様子 ▶



花笑の会 会費

【年会費】

個人：1口 2,000円 団体：1口 5,000円
会費は一年更新。入会・退会は自由です。
口数に上限はありません

会費振り込み先

【銀行ご利用の場合】

川崎信用金庫 長沢支店
(普) 0185019 花笑の会会長志岐チエ子

【郵便局ご利用の場合】

同封の振込用紙をお使い頂くか
下記の振替口座までご入金下さい
振替番号 00220-7-71044
加入者名 花笑の会

花笑の会へのご連絡は、なごみ福祉会法人本部までお願いします